千葉開府 Road to 900 since 1126

「鎌倉殿」と千葉常胤

一、鎌倉幕府成立と千葉常胤

千葉介常胤像（郷土博物館蔵）

1月9日㈰からNHKの大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の放送が始まります。ドラマには、俳優の岡本信人さん演じる千葉常胤も登場します。常胤は、千葉のまちの礎を築いた千葉一族の中興の祖ともいえる人物で、合議体制をとる鎌倉幕府の13人の御家人には入っていませんが、源頼朝の信頼を得て第2代将軍頼家を後見役として支える重要な役割を果たしました。では千葉常胤とは、いったいどのような人物だったのでしょうか。

平安時代後期の1126年（大治元年）に、常胤の父、常重が大椎（現在の緑区大椎町）から現在の中央区亥鼻付近に本拠を移したことにより、千葉市の都市としての歴史が始まったといわれています。

常胤は、1180年（治承4年）に石橋山の戦いで平家方に敗れた源頼朝が海を渡って房総に逃れてきた際に、頼朝の再起を助けました。頼朝34歳、常胤63歳の時です。

また、鎌倉を本拠とするよう進言するなど、鎌倉幕府の創設に重要な役割を果たしました。こうした常胤を、頼朝は「父のように慕っていた」との記録（吾妻鏡）が残っています。その後、多くの功績を挙げ、千葉氏は鎌倉幕府の中でも屈指の御家人となりました。

千葉常胤役
岡本信人さん

大河ドラマ 鎌倉殿の13人 The 13 Lords of the Shogun

1月9日㈰放送開始
毎週日曜日　20:00から（NHK総合テレビ）
18:00から（NHK BSプレミアム・BS4K）

問都市アイデンティティ推進課 ☎245-5660 FAX245-5476